



託北だより「あすなろ」No.59

「和」～敬・愛・信～

令和7年7月4日（金）

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HP コード

☀️ 「七夕と文月」

7月3日（木）に、全校朝会を行いました。今回は暑さを避けてリモートで実施しました。以下主な内容です。

おはようございます。

さて、今週から7月に入りました。時の流れは早いもので、あっという間に1学期のゴールが見えてきました。ところで、7月のことを英語で何と言いますか。そうですね。「July」ですね。日本では、昔から7月のことを別の言い方をしています。「文月」と書いて「ふみづき」と読みます。

なぜ「文月」と言うか、そのヒントはこれです。（七夕飾りの写真）

そうです。「七夕」です。昔、七夕に本を干す行事があって「本（文）を開いてほした」という意味から「文ひろげ月」と呼ばれるようになり、それが「文月」になったという説があります。

「七夕」という行事は、もともと、水の神様に秋の豊作（お米や作物がたくさん穫れること）を願ったり、織物（着物を織ること）が上手になりますようにと願ったりしていた行事です。

また、中国の星伝説である「織姫」（こと座のベガ）と「彦星」（おし座のアルタイル）が一年に一回、天の川を渡って会える日とも言われ、願い事が叶う日とも言われています。

七夕では、笹や竹に願い事の短冊や飾りを付けます。笹や竹には魔除けの力があるとされていて、短冊や飾りに込められた願いが無事に天に届きますようにということから、笹や竹が使われています。

例えば、みなさんは、どんな願い事をしますか。廊下に掲示してある笹を見ると、「好き嫌いがなくなりますように」「ネイリストになりたいです。」「野球のスター選手になれますよう



に。」「算数の問題がうまく解けますように。」「7月に何もおこらず、平和でありますように。」などいろいろな願い事がありました。ちなみに私は、「毎日、皆さんが笑顔でありますように。」と書きました。

他のみなさんも、機会があれば、短冊に願いを書いて、祈ってみてください。でも、願いをかなえるには努力も必要ですよ。

ちなみに、願い事に使う短冊は「5色の短冊」といわれ、5つの色が使われます。その色にも、一つ一つ意味があるとされています。

- 青 ◎思いやりのある人になりたい
- 赤 ◎感謝のできる人になりたい
- 黄 ◎友達を大切にする人になりたい
- 白 ◎決まりを守れる人になりたい
- 黒(紫) ◎勉強ができるようになりたい

皆さんの願いが、天に届き、その願いがかなうといいですね。

これで7月のお話を終わります。しっかり聞いてくれてありがとうございます。



☀ 7・8月の予定

- 7月10日(木) 授業参観・学級懇談
- 18日(月) 1学期終業式(3時間 給食なし)
- 22日(火) 夏季休業～8月28日(木)
- 22日(火) 教育相談(希望者のみ)～28日(月)
- 8月7日(木) 学校閉庁～17日(日)
- 29日(金) 2学期始業式(3時間 給食なし)



☕ コーヒーブレイク



先日、家人から「お米を帰りに買ってきて」という連絡が入りました。そこで、できるだけ安めのスーパーに寄りました。巷では、「備蓄米」の販売が始まったとかで話題になっていますが、何のことはない、記憶にある値段と比べると倍ぐらいの値札が付いています。仕方がないので、できるだけ安いブレンド米の10キロ袋をレジに運びました。私の実家は農家で、米も家で食べる野菜も栽培していました。足りないものは近所や親戚からもらい、肉や魚、調味料等以外は、ほぼ自給で済ませ、米は買ったことになったのです。だから、余計に高いお米を買うのに違和感があります。しかし、農家の立場からすると、今まで安すぎたというのは否めません。知り合いの農家に聞くと、米作りで生活はできないと言います。そのほとんどが、別の作物か兼業で生計を立てています。日本の食料自給率はカロリーベースで40%を切っています。世界の情勢や異常気象を考えると、心もとない数字です。というようなことを考えながら、今日もおいしい給食を感謝しながらいただきました。

